

成人期の発達症支援

～地域における支援体制の再確認と今後のあり方について考える～

近年、発達症という名称は広く社会に認識されるようになってきました。そして、診断概念が広がる中で、発達症が多様な臨床像を示すことも知られつつあります。このような流れがある一方、医学的知見とそれに基づく的確な支援は、有機的な連携をもって地域で暮らす発達症の方に届いているのでしょうか。果たして、個別性の高い発達症の方々のニーズに沿うことができているのでしょうか？

今回のシンポジウムでは、地域における支援体制を通して、発達症の支援について再考する機会にしたいと思います。

2022年9月25日(日)

13:30～16:45

「発達症に関わる施策と地域における支援体制の概要」

中部学院大学 人間福祉学部 人間福祉学科
講師 竹村 忠憲

「滋賀県発達障害者支援センターの取り組み

～重層的な支援体制を目指して～

滋賀県発達障害者支援センター
副所長 桜井 弥生

「京都府における発達障害者支援

～ケースを通じた地域連携の取り組み～

京都府発達障害者支援センターはばたき
センター長補佐 新藤 崇代
社会福祉法人 京都ライフサポート協会
しょうがい者生活支援センターあん
発達障害者山城南圏域支援センター
管理者 飯田 周子

【参加費】 無料

【申込案内】 9月22日(木)までにお申し込み下さい

<https://forms.gle/HGs9vjud95SWyqiq9>

